



# 富士エアーフィルタ VFY型 リングブロー関連商品 取扱説明書



この度は、富士エアーフィルタVFY型をお買い上げいただきまして、誠に有難うございました。この説明書は、本フィルタを安全にご使用いただくための取扱いについて説明するものです。安全を確保するため、取り扱う前にお読みください。

## 取扱上の注意

- 1 このフィルタの入気温度は、最高で104℃ですが、このリングブローの搬送気体は40℃以下・相対湿度80%以下となっておりますので、この条件下でご使用願います。



**注意**

104℃以上でご使用になられた場合は、フィルタエレメント、Oリング及びガスケットなどが損傷することがありますので、ご注意下さい。また、水分・水滴が入りますと通気抵抗が増え、効率が低下するとともに、エレメント強度も低下しますのでご注意願います。

- 2 このフィルタの流体の流れ方向は、右図のとおり、中のエレメントに対して、外側から入り、内側から排出される構造になっております。接続に間違いのないようお願いいたします。
- 3 このフィルタへの配管の接続は、機密保持のために必ずシールテープを用いて接続をお願いいたします。
- 4 エレメントは集塵の結果、目詰まりして通気抵抗が増加します。差圧で0.981kPa程度を目安に保守・管理願います。差圧計を取り付けていない場合は、お客様の使用状況に応じた保守・管理をお願いいたします。エレメントは消耗品ですので、交換予備品をお備えください。



## エレメントの交換方法

本フィルタエレメントは、ペーパー（紙製）ですので、水洗いなどによるクリーニングは出来ません。目詰まりによる通気抵抗が増加したときは、純正のエレメントと交換をお願いいたします。エレメントの交換手順は次のとおりです。

- 1 フィルタ本体に付着しているほこりや錆を除去してください。その後クリップを外してフィルタの蓋を取り外してください。
- 2 フィルタ蓋の内側に装着しているOリングが損傷していないか確認してください。損傷している場合は交換してください（写真1）。
- 3 エレメントを手で外し、フィルタ内部のガスケットが損傷していないか確認してください。損傷している場合は交換してください。（VFY039Aの場合はエレメント固定用スクリーナットを外してください）。
- 4 フィルタ内部にたまったほこりを掃除機などで取り除いてください。その際リングブロー側の配管内にほこりが落ちないようにご注意ください。
- 5 新品のエレメントを手でフィルタ内部にしっかりと装着してください。（VFY039Aの場合はエレメント固定用スクリーナットを締めてください）。蓋内側のOリングがシール面に正確に当たるよう装着し、最後にクリップで固定してください（写真2）。



写真1



写真2



**注意**

損傷したOリングやガスケットをそのまま再使用しないでください。フィルタの漏れにつながります。

## VFY038Aの場合

このVFY038A型のみ“T”スタイルのフィルタとなっております。  
このフィルタのエレメント交換方法は次の通りです。

- 1 フィルタ本体に付着しているほこりや錆を除去してください。その後クリップを外して、フィルタ下部のケースを取り外してください。
- 2 フィルタ蓋の内側に装着しているシールガスケットが損傷していないか確認してください。損傷している場合は交換してください（写真3）。
- 3 エレメント下部のスクリーナット及びワッシャーを取り外すと、下部プレートとエレメントが取り外せます（写真4）。フィルタ下部のケース内にたまったほこりなどを清掃してください。
- 4 新品のエレメントを手でフィルタ内部にしっかりと装着してください。その後、スクリーナット及びワッシャーで下部プレートを固定してください。
- 5 最後にフィルタ下部のケースをシール面に正確に当たるよう装着し、クリップで固定してください（写真5）。



VFY038A型



写真5

## 純正部品一覧表

NO.	フィルタ形式	エレメント型式	Oリング形式	ガスケット型式
1	VFY031A	VFY031A-E	9241050 (1)	9110900 (2)
2	VFY032A	VFY032A-E	9241250 (1)	9111000 (2)
3	VFY034A	VFY032A-E	9241250 (1)	9111000 (2)
4	VFY036A	VFY036A-E	9241400 (1)	9111100 (1)
5	VFY038A	VFY038A-E	—	9111715 (1)
6	VFY039A	VFY039A-E	9241610 (1)	—
7	旧AF4000-008	VFY039Z-E	—	9110050 (1)

( ) 内の数字はフィルタ1台あたりに必要な数量です。

販売元：

**富士電機テクニカ株式会社**

〒103-0011

東京都中央区日本橋大伝馬町5-7

三井住友銀行人形町ビル

TEL：0120-937-745

Web：www.fujielectric.co.jp/technical/

製造元：

ソルバーク製造 (USA)





# Inlet Vacuum Filter Operational Manual

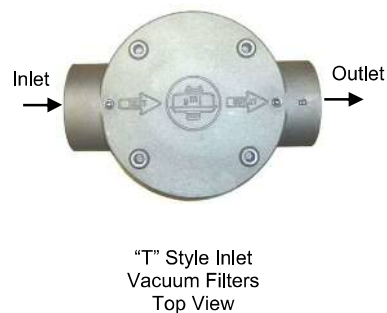


## Inlet Vacuum Filter Housing Installation:

1. The maximum recommended air stream temperature for an inlet vacuum filter is 104°C.

**Warning- Temperatures in excess of this could cause damage to the filter media, o-rings, and/or gaskets.**

2. Direction of flow is typically from the outside of the element to inside of the element.
  - "L" Style Filters: Inlet air flow enters the canister on the side and discharges out the bottom.
  - "T" Style Filters: Inlet air flow enters the canister on the baffle side and discharges out the opposite side



3. Ensure that pipe connections are properly sealed so that the potential for leakage is reduced to a minimum.

## Inlet Vacuum Filter Element Cleaning:

Some types of inlet filter elements can be cleaned and reused. However, damage can occur to the element during cleaning; so, it is imperative that care is taken during disassembly, cleaning and re-assembly. Damaged elements can allow particulate bypass, which may result in damage to rotating equipment.

Paper Element- The element may be lightly blown with low pressure air (1 bar). This type of element is considered to be disposable and in most cases should be replaced with a new element.



Paper Filter  
Element Example

# Servicing the Inlet Vacuum Filter Element

## Servicing Filter Element - "L" Style:

1. Make sure all surfaces are free from dust and other particulates.
2. Make sure the housing o-ring rests evenly along the housing cover o-ring groove. (Arrow 1)
3. Check that all applicable gasket(s) are in place; then insert filter element into canister housing.
4. Hold housing cover securely against the o-ring and the filter canister and then fasten the wire form clips. (Arrow 2)



Arrow 1

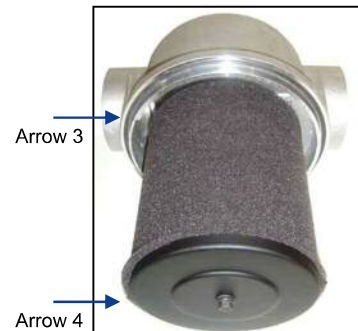


Arrow 2

**Warning- Check to make sure all gaskets and o-rings are in place prior to element installation**

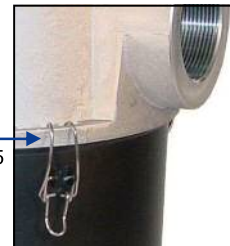
## Servicing Filter Element - "T" Style:

1. Make sure all surfaces are free from dust and other particulates.
2. Make sure the canister head sealing gasket rests evenly along the canister head groove. This will create the seal between the canister head and the bucket. (Arrow 3)
3. Check that all applicable gasket(s) are in place; then insert filter element onto canister head.
4. Place element top on the element. Add washer and screw in the bolt to hold the filter element in place. (Arrow 4)
5. Hold canister bucket securely against the sealing gasket and the canister head and then fasten the wire form clips. (Arrow 5)



Arrow 3

Arrow 4



Arrow 5

**Warning- Check to make sure the gasket is in place prior to housing bucket installation**

**Seller:**  
Fuji Electric Technica Co., Ltd.  
Ohdenma-cho 5-7, Nihonbashi, Chuo-ku,  
Tokyo 103-0011, Japan  
( Mitsui Sumitomo Bank Ningyo-cho Bldg.)  
TEL: +81-3-5847-8089  
Web: [www.fujielectric.co.jp/technica/](http://www.fujielectric.co.jp/technica/)

**Manufacturer:**  
Solberg MFG  
USA

